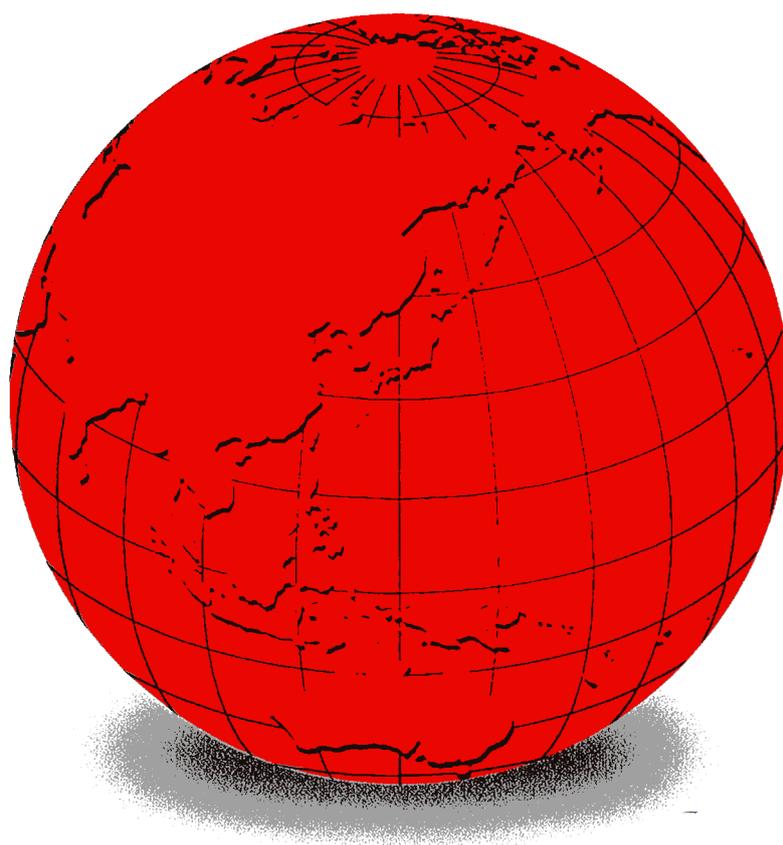


イノベーション立国へ向けて



経済産業省
平成19年度 産業技術調査
イノベーション創出に向けた『鍵』の発見に資する調査

平成20年3月
東京海上日動リスクコンサルティング株式会社
経営リスクグループ

一 資料編 (イノベーション) 目次一

【事例 1】非接触型ICカード技術「FeliCa」(ソニー).....	1
【事例 2】「書いて、消して、また書ける」ボールペン「FRIXION ball」 (パイロットコーポレーション、パイロットインキ).....	2
【事例 3】「薄い」「軽い」「曲がる」フィルム型アモルファス太陽電池 (富士電機システムズ).....	3
【事例 4】携帯電話端末市場における世界最大シェアの獲得 (NOKIA Corporation).....	4
【事例 5】新しいミュージックデバイス「iPod」「iTunes」(APPLE Inc.).....	5
【事例 6】プロシューマーを取り込む動画共有サービス「YouTube」(YouTube, LLC).....	6
【事例 7】高齢者を含む新たな利用者市場を創出するゲーム端末「Wii」(任天堂).....	7
【事例 8】「行動展示」による高い集客力の実現(旭山動物園).....	8
【事例 9】世界2位のシェアを有するプリント基板実装工程向けの自動外観検査装置(サキコーポレーション) ...	9
【事例 10】携帯端末及び情報家電向けインターネットブラウザ「NetFront Browser」(ACCESS).....	10
【事例 11】視認性・可読性に優れた人工知能を活用したデジタルフォント(リムコーポレーション).....	11
【事例 12】非接触型手のひら静脈認証技術(富士通、富士通研究所).....	12
【事例 13】高機能電子材料への転換と世界のリーディングカンパニーの地位の獲得(JSR).....	13
【事例 14】世界レベルの高精度非接触三次元測定装置や脳外科手術用顕微鏡(三鷹光器).....	14
【事例 15】世界レベルの高精度一酸化炭素ガスセンサ(坂口技研).....	15
【事例 16】RNA医薬を中心とする先端医薬の創薬ベンチャー (ジーンケア研究所).....	16
【事例 17】世界初の磁気浮上型遠心ポンプを採用した左心補助人工心臓(テルモ、Terumo Heart, Inc.).....	17
【事例 18】身体機能拡張ロボットスーツ™「HAL™」(筑波大学山海教授、CYBERDYNE).....	18
【事例 19】世界の水不足問題に貢献する高機能膜技術(東レ).....	19
【事例 20】革新的ビスマス系高温超電導線の実用化(住友電気工業).....	20
【事例 21】ヒト人工多能性幹細胞(iPS細胞)の樹立(京都大学山中教授).....	21

【事例 11】視認性・可読性に優れた人工知能を活用したデジタルフォント (リムコーポレーション)

11 IT化の進展に伴うデジタルフォント市場の拡大を見込んだ戦略的参入

1988年に設立された(株)リムコーポレーションは、認知工学、認知心理学、自然言語処理等をベースに、携帯電話などの光学機器に使用されるフォント市場で圧倒的なシェアを有するフォントメーカーである。同社の日本語フォントは、携帯電話市場において50%のシェアを獲得するなど高いシェアを有しているほか、カーナビ、デジタルTV、情報家電など幅広い分野でも活用されており、今後も市場の拡大が見込まれている。さらに、同社は最先端の人工知能テクノロジーの基礎技術を応用し、産学連携により認証ビジネスなどへも発展させるべく研究開発を行っている。

・経営トップによる明確なビジョンの提示

同社の社名の英語表記「LIM」は、Leadership In Microsoftwareの頭文字をとったものであり、「マイクロソフトウェア業界でのリーダーシップをとる」という創業者の竹塚社長の強い意志のもと、つけられた社名である。この社名のもと、同社は「世界市場で成長を続けるリーディングカンパニー」を目指し、人工知能を基盤とした最先端ソフトウェアテクノロジーをコア・コンピタンスとして定め、常に業界シェアを最優先に事業展開を行うこととしている。

・世界市場をターゲットに設定

1988年に設立された同社は、目が肥えていて品質に厳しい世界市場で認められれば、黙っていても日本市場でも受け入れられるという考えのもと、日本市場に先立ち、全てのフォント製品群を欧米市場向けの開発に集約した。日本の企業で欧米市場に特化してフォントを開発している企業はなく、日本で製造し世界に輸出されるプリンタなどの情報機器メーカーなどに同社のフォントが採用され、フォント分野での地位を築くことに成功した。

・フォントに人工知能技術を応用

同社は、日本の市場規模・動向・他社製品の性能・価格などを多面的に分析した結果、携帯電話などのLCD(液晶)やLEDを用いて文字を光学的に表現する手法が大きな市場になるとともに、フォントの視認性・可読性に優れた文字が必要となると確信し、携帯電話など光学機器に使用されるフォントの研究に取り組んだ。

他社ではデザイナーの感性に任せて作業をおこなっていたのに対して、同社では認知工学に基づく人工知能ソフトウェアを用いることで、一定の基準で均一的で読みやすいフォントを作成することに成功した。このフォントは電子辞書で最大手の米国フランクリン社をはじめとして多くの大手企業で採用され、トップシェアを築き上げた。

出典・参考資料：(株)リムコーポレーションウェブサイト (<http://www.lim.co.jp/>)
2006年版元気なモノ作り中小企業300社(中小企業庁)